

## ○用排水路等の整備に要する経費

## 現状・課題

- 未整備水路では、排水不良や法面崩壊等により地区の排水に支障を来たしているほか、維持管理に多大な労力を要している。
- 集落内開発制度※の施行(平成22年度)に伴い、農用地以外において増加している非農家からの排水路整備要望にも対応していく必要がある。  
※ 建築が制限されている市街化調整区域において、住宅等の建物の建築を可能とする制度のこと
- 農業用排水機場の老朽化に伴う改築更新事業は喫緊の課題であり、これまで水路整備等の地元要望に対する十分な対応ができていない。

## 事業概要

- 事業費:599,974千円
- 事業内容
  - (1)国や県の補助事業の要件に合致しない小規模な水路、農道等の整備【560,136千円】  
 <<積算内訳>>
    - ・工事請負費:454,774千円
    - ・委託料:105,362千円
  - (2)土地改良区等が行う施設の維持管理や整備に対する補助金等【28,337千円】  
 <<積算内訳>>
    - ・原材料費:9,960千円
    - ・負担金補助及び交付金:18,377千円

## イメージ図

老朽化した農業用排水機場については多大な費用を要することから、更新計画を策定し、必要な予算を別途確保することで地元ニーズに対応

## 農業基盤整備事業

前年度比 **約1.3億円** の予算増  
(R5当初4.7億円 ⇒ R6当初6.0億円)



## 整備事例

